

《担当者名》 吉田 繁、小野誠司、沖野久美子、高橋祐司

【概要】

臨床実習病院において、病院検査室の見学と臨床検査業務の補助を体験する。学内の講義、実習で得た知識や技術が臨床現場でどのように活用されているのかを確認する。臨床検査全般に対する理解を得たのちに、各専門分野をローテーションし検査業務を体験することで、その分野に対するより深い理解と専門性を得る。あわせて、検査室全体のマネジメント知識を得ることで臨床検査技師および医療人としての即戦力を養うことを目的とする。

【学修目標】

医療人を志す学生として良識とモラルを身につけるとともに、臨床検査技師として不可欠な基本技能を修得し、また、医療チームの一員として臨床検査技師の役割と責任を持たせることを到達目的とする。

- 1) 社会人としての良識を身につけるとともに、医療人としての倫理感を身につける。
- 2) 臨床検査の現場に身を置き、臨床検査技師として不可欠な臨床検査の基本的な実践技術を習得する。
- 3) 提供する臨床検査情報の意義、精度管理の必要性、そして検査研究の重要性を認識するために、疾患へ興味を持ち、検査情報より病態解析へのアプローチを身につける。
- 4) 医学・医療の専門職そして医療チームの一員として積極的に取り組むために、医療の中における臨床検査および臨床検査技師の役割と責任を知り、医療人としての自覚を持つ。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	臨床実習の目的やその内容を理解する	吉田 繁 小野誠司 沖野久美子 高橋祐司
2) 158	臨床実習	医療機関において実習を行う ・生理機能検査 ・検体検査	臨床実習指導者

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

臨床実習指導者評価 60%

実習記録および報告書 40%

【備考】

「臨床実習マニュアル」を配布する。

【学修の準備】

- ・「臨床実習マニュアル」を熟読し、必要な準備を行うこと
- ・関連する各講義の資料や教科書等を用いて、実習前に復習を行うこと
- ・オリエンテーションには必ず出席すること

【ディプロマポリシーとの関連性】

- (DP1) 生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている。
- (DP2) 臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。
- (DP3) 保健・医療・福祉の各分野の役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚とそれを実践するための専門性と協調性を身につけている。
- (DP4) 臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に関心を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。
- (DP6) 臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。

【実務経験】

吉田 繁（臨床検査技師）、小野誠司（臨床検査技師）、沖野久美子（臨床検査技師）、高橋祐司（臨床検査技師）

【実務経験を活かした教育内容】

医療人としての実務経験を活かして、実践につながる教育を実施している。